



“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ “CENTIPEDE”

Office : Tokyo YMCA Toyoko Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

2025年7月～2026年6月

- 国際会長主題 「信念、愛、行動」
- アジア会長主題 「信念と愛をもって行動しよう！」
- 東日本区理事主題 「ワイズのらしさ再発見」
- 東新部部长主題 「「考えること」を止めないで進もう！」
- クラブ会長主題 「今、この時、新たなる一步を！」

- 書記 伊丹 一之
- 会計 福島和州太郎
- 担当主事 本多 良章

- 会長 今井 武彦
- 副会長 福島和州太郎
- 直前会長 神保伊和雄

2026年3月例会（769回）

（強調月間：CS/Green P/ワイズメネット）

今月の聖句

明日のことを思い煩ってはならない。
明日のことは明日自らが思い煩う。
その日の苦勞は、その日だけで充分である。
(マタイによる福音書 6-34)

Therefore do not worry about tomorrow,
for tomorrow will worry about its own things.
Sufficient for the day is its own trouble.

ユースサポートファンドに協力しよう！！
ユースとワイズの関係強化のために。
“4/30までに献金額目標200万円”

3月例会

日時 2026年3月17日（火） 18:00～20:00
場所 東京YMCA東陽町センター・YMCAホール
会費 ビジター 1,500円、メンバー 1,500円
※欠席の方は 3/13までに今井まで連絡ください

3月本例会プログラム

- 受付 城井 廣邦
- 司会 神保伊和雄
- 開会点鐘 会長 今井 武彦
- ワイズソング 一同
- 聖書朗読・祈祷 神保伊和雄
- ゲスト・ビジター紹介
- 卓話「いまを遺そう。あなたの♥を言葉にする」
東京クラブ書記 佐々木行恵
- 強調月間アピール 伊丹 一之
- ハッピーバースデー・結婚記念日 司会
- スマイル 福島和州太郎
- 諸報告 本多 良章他
- 閉会挨拶 伊丹 一之
- 閉会点鐘 今井 武彦

3月強調月間 CS/Green P/メネット について

CS : コミュニティー・サービス。地域社会、隣人への奉仕活動。
Green P : グリーン・プロジェクト。地球を緑で満たそう。
ワイズメネット : 男性会員の女性パートナーのこと。女性会員のパートナーの呼称は未定。(伊丹 記)

HAPPY BIRTHDAY 該当者なし
結婚記日おめでとう 該当者なし

2026年2月の記録（*累計は期初からの24累計）

会員出席状況		メーキャップ記録		スマイル	
正会員	7名	出席(メネット)	0名	城井廣邦 2/24 第二例会	BFポイント 現金累計 円
功労会員	1名	出席(コメント)	0名		切手累計
在籍者数	8名	出席(ゲスト)	0名		
出席(正会員)	5名	出席(ビジター)	0名	1名	リングブル 累計 279.5kg
出席(功労会員)	1名	例会出席総数	6名	2月出席率 86%	むかで基金 今月分 6,000円

会費振込 みずほ銀行 亀戸支店（普通）3013071 東京むかでワイズメンズクラブ

2月本例会報告

東京むかでワイズメンズクラブ2月例会は、2026年2月17日(火)18時00分より、東京YMCA東陽町センター1階ホールにおいて開催されました。

司会は長谷川正雄君が担当、今井武彦会長による開会点鐘で開会。ワイズソング、神保伊和雄君による今月の聖句と感謝、2月は“TOF”でしたので、例会の食事は無しで、例会後にホテルルートインで会食をしました。



今月の卓話は、当クラブの宮田康男君(写真左)。「ラオスに行って考えたこと」と題して次のように語られました。

ラオスという国名の由来は、ラオ族が多いのでラオスとなった。日本からは、ベトナムま

たはタイを経由して入ることとなり、まる1日かかり。ラオス入りの飛行機はプロペラ機でした。東にベトナム、西にタイ、北は中国とミャンマー、南はカンボジアで、南北に細長い国。海に囲まれている日本と違い、内陸国なのでストレスの多い国になります。

国旗は、上下が血の色を表す赤で、中央部がメコン川の青、中央にある白い丸はメコン川に上がる満月を表しています。



ラオスの面積は、日本の本州と同じ大きさ、メコン川に沿って高台と低地があり人種の住み分けがある。人口は790万人でラオ族が大半で約50の民族が住む。GDPは一人当たり年間300ドルくらい。お金の単位はキープで、硬貨は無く全てお札で、1000キープが75円くらい。流通はキープが中心だが、タイ・バーツや米ドルも使えます。



【不発弾処理センター前にて、高校時代の友人(茨城県議)と】

主食はお米で、もち米が多く、きしめんのようなうどんもおいしい。フランス領だった時代もあり、フランスパンもおいしい。ハーブやライムを使ったサラダもおいしい。

ラオスには町名はあるが番地はなく、手紙は郵便局に取りに行く。大変な国だと思ったと語られ、今後もラオスに注目していきたいと締めくくられました。



【ルワンババーンの寺院。京都のような観光地でラオスでは裕福な地域とのこと】

卓話の後には、伊丹一之君によるTOF/FF/HTWについての強調月間アピールがありました。結婚記念日には、今井君が52回目の記念日当日ということで、記念品が贈られました。スマイルは神保君が担当して6,000円を計上。

その後は、むかでクラブの来期のことについて、クラブの合同はいかがなものか、意見交換の時を持ちました。出席者全員から様々な意見が出され、なかなか方向性は定まりませんでした。今年度いっぱいかけて考えていきたということになりました。

閉会挨拶を伊丹君が述べ、今井会長による閉会点鐘で会を閉じました。

(伊丹 記)

出席者:今井、伊丹、神保、長谷川、本多、宮田

YMCA多文化共生スペース研修会参加報告

「誰もが生きやすい社会へ。一外国にルーツがある子どもから考える多文化共生」と題して、東陽町にあるYMCA多文化共生スペース▽(さんかく)による研修会が、2/4、2/21の二日間にわたって開催されました。

講師は仲山淳子氏(にほんご学院非常勤講師・日本語ボランティア養成講座講師)。講座参加者は20名前後。

第一日目の講義:現在、日本在住外国人数は約400万人。日本語指導が必要な児童数は約7万人。これらの児童に対する課題は、①子ども本人の意思に関係なく来日している。②外国人の子どもの場合、就学義務ない等。③日本語・教科指導に関する教科指導の難しさに直面している。

このような状況から、日本語習得・母語保持の混乱をきたし、本人のアイデンティティーの確立に苦慮している。そのため、私たちは、子ども達の居場所作り、交流できる場の支援等を考えよう。

第二日目の講義:外国にルーツのある若者から学ぶ多文化共生。具体的に、「やさしい日本語について知ろう」と題して学びました。「やさしい日本語」とは、普段使われている言葉を、外国人にもわかるように配慮した簡単な日本語。例えば、「避難」「ただちに」「巨大な」・・・これを簡単に

言ってみよう！！どうですか？

話すときの「やさしい日本語」のポイント！

- ① はっきり言う。
- ② さいごまでしっかり話す。
- ③ みじかくはなす。以上①～③を「はさみの法則」と言う。

講義の後、外国ルーツの若者三人を交えて、小グループに分かれ、一緒に「やさしい日本語」を使ってゲームをしました。例えば、「懇談会」「インターネット」「保護」等の言葉を、やさしい別の言葉を使って言い当てるのです。意外と、難しく、参加者の方々の良き頭の体操となりました。

私たちは、今、新たにチャレンジするチャンスが与えられたのだと思って、外国にルーツがある子どもたちとの出会い・交流を求めてみましょう。 (今井 記)

卓話者・佐々木行恵さんプロフィール



東京クラブ書記で、キリスト教葬儀社・株式会社クリスチャンサービス代表取締役。

大切な人を「ありがとう」で送るお手伝いを続けて20年。

事前相談や相続の悩みに向き合い、専門家への橋渡しを大切にしている。厚労省認定一級葬祭ディレクター。相続診断士。氏曰く、「エンディングノートを書き終えた今こそ、あなたの原点を見つめ直す時です。」と。

福島ワイズ・ファミリー報告

2026/1/5、新年早々に我が家に新しい家族が増えました。3,060g, 47cmの元気な男の子です。4日の夜から陣痛が始まり、妻は先に夜12時頃に陣痛タクシーに乗り病院へ行きました。私も少し仮眠を取り、お義母さんに上の子を見てもらい、遅れて午前2時頃に歩いて病院へ向かいます。

到着して分娩室へ案内され、まだしばらくかかりそうとのことで、妻の飲み物やお菓子など少し買い出しをしてきました。分娩室に戻ると、小さなソファとパイプイスを繋げて仮眠をとりました。目が覚めると産科の先生がいて、「おはようございます、もう少しで出てきますよ」と言われ、時刻は朝6時頃、ハッとしてベッドに寄り、妻の背中をさすりながら、励ましの声をかけます。無痛分娩にしたため、あまり痛そうな様子も苦しそうな様子もなく、逆に力を入れづらく、いきむのが難しそうでした。そのうち、「あと何回かいきんだら出ますよ」「いま頭が見えています、もう少し頑張ってください」と言っているうちに、するっと出てきました。すぐに元気な産声を上

げて、一同安堵の声が上がります。

命名は苦労しました。兄の「碧和(あお)」がニュージーランド生まれで、原住民のマオリ語でニュージーランドを意味する「Aotearoa」という言葉の、初めの単語の「アオ」(大地や世界を意味する)にちなんで名づけたため、兄弟でシリーズにしにくかったためです。たくさん候補を挙げて、さんざん悩んだ後、結局「郁玖(いく)」と名付けました。



(由来)新しい時代が活気溢れる文化豊かな世(郁;文化が盛んで華やかな様子)になるよう、穏やかに輝く価値(玖;黒い宝石を

意味)を世に生み出す存在となることを願って。2文字の名前でおうへの宝石を指す漢字をつけて、兄(碧和)とのつながりを意識しました。

また、馬九行駆(うまくいく)という当て字があり、九の旧字体でもあるため、「万事うまくいく」という縁起の良い当て字で、うま「九」「いく」としました。いずれも午年の祖父・学と父・和州太郎と馬のつながりを意識しています。

実は私が16歳の時に父を亡くしており、その命日が1/10でちょうど20年目、父が自分の家庭に再び生まれてきてくれるのではないかと、そんな思いで2人目をお迎えしました。父が道半ばで達成できなかった様々なことを、私が変わりに成し遂げたい、そう思って生きています。まずは幸せな家庭を築いたよ、それを見ていてくれたら嬉しいな。

(福島 記)

2月第二例会報告

第二例会は2月24日(火)18:00よりZoom方式で開催されました。2月は、東新部役員公式訪問。3名の部役員にご出席いただきました。打ち合わせ、協議事項は以下の通りです。

1. ブリテン3月号の発行について

- ・編集担当は伊丹君、原稿締め切りは3月5日(木)
- ・各原稿担当者の確認 例会報告:伊丹君、YMCA多文化共生スペース研修会報告:今井会長、「仮・福島ワイズファミリー報告」:福島君、第二例会報告:長谷川君、通常原稿は各担当者。発行は3月12日(金)を予定。
- ・3月本例会卓話者は、東京クラブ佐々木行恵君に依頼。同氏のプロフィールは、今井会長が手配する。

2. 今後の本例会プログラムなど。

- ・4月本例会は東京クラブとの合同例会を予定し、むかでクラブが幹事。例会日は第3火曜日4月21日とする。卓話者は峰 毅君(東京多摩スマイル)を予定。
- ・5月本例会卓話者は当クラブの城井廣邦君を予定。タイトルは「AI」について。

3. 連絡事項など

- ・恒例の4月W4W、東陽町近辺の清掃を東京クラブとの協同で行う。日程は後日連絡、ご協力ください。
- ・区よりユースサポートファンドへ献金(クラブとして5,000円予定)に加え、個人献金要請、締め切りは4月30日。

4. 協議、部役員の評価、意見交換など

- ・当クラブでは2月本例会で、次期クラブ役員は今期の役員が続投することになりました。但し、続投する役員の想いとして、メンバー数の減少、体力弱体化等を考えると、「他クラブとの積極的な協同活動、時に合併なども視野に入れた、クラブ運営検討の年度」にすることが了解されました。会長から経緯の説明、報告がありました。
- ・部役員の皆様からは、講評に代えて、所属クラブの事情や活動状況が報告され、当クラブと大同小異の状況にあることが語られました。東新部には「Y友広場」など語りの場があり、更に在京ワイズ12クラブの会などで、クラブ、部の枠を超えた場で、この状況について検討、意見交換の必要を痛感した、第二例会でした。

(長谷川 記)

出席者:今井、伊丹、城井、長谷川、本多、宮田

ビジター:伊藤幾夫 部書記(東京多摩みなみ)、石田孝次 部会計(東京多摩みなみ)、長澤弘 部監事(東京)

会 長 通 信

2月例会の卓話は、宮田さんのラオス訪問報告でした。私たちの知らないラオスの現況を聴く機会を与えられて感謝です。

今、世の中は、ポピュリズム的発想が横行しています。その中で今、私たちは、本当に考えねばならないことは何だろうか。

自分の周りのこと、日本全体のこと、世界の国々で起きていることを、一人一人が考えることが大切ではないでしょうか？

ワイズ活動の中で、このような考える課題を与えられています。

3月、4月と季節の変わり目を迎えます。さあー、こころ新たに、新しいことにチャレンジしてみましょう！ (今井 記)

<3月の予定>

- 3日(火) 東京多摩スマイルクラブ・3月本例会
- 5日(木) 東京町田コスモスクラブ・3月本例会

- 10日(火) 東京クラブ・3月本例会
- 12日(木) 東新部会長会・Y友広場(Zoom)
- 13~14日 次期部役員・会長研修会(御殿場)
- 17日(火) 東京むかでクラブ3月本例会
- 21日(土) YMCA認知症サポーター養成講座(山手セ)
- 24日(火) 東京むかでクラブ・第二例会(Zoom)
- <4月の予定>
- 21日(火) 東京・東京むかでクラブ4月合同本例会
- 28日(火) 東京むかでクラブ4月第二例会(Zoom)

Y M C A ニ ュ ー ス

【参加者募集】第35回チャリティーゴルフ大会 4/28開催 (支援が必要な子どもたちのために)

1990年から毎年多数の方々のご参加・ご協賛をいただいで継続しており、おかげさまで今年で35年目を迎えました。支援が必要なウクライナの子どもたちと国内の子どもたちのために開催します。

【日 時】 2026年4月28日(火)

【会 場】 PGM総成ゴルフクラブ

【定 員】 100人(4人×25組 先着順) *お1人でもご参加いただけますので、ご相談ください。

【参加費】 5,000円/1人(プレー代別)

【申込み】 3月31日(火)までに申し込みフォームまたはチラシ2ページ目の申込欄をお使いください。

(本多 記)

2月会計報告・リングプル報告

1. 月間収入・支出合計 機関 2/1~2/28

	月間収入額	月間支出額
経常部	0 円	0 円
活動基金部	6,000 円	0 円

■月次収支合計: +6,000円

■現預金残高(2/28現在): 462,415円

(収支の主な内訳)

・活動基金収入: スマイル 6,000円 (福島 記)

2. プルタブ 2月預かり分

今月はお休み月間です。

次月の報告に期待しましょう。 (神保 記)

編 集 後 記

昨日今日の新聞には、「東日本大震災15年」にちなんだ記事が多く掲載されています。15年前のその日、縫製関係の研修会で、有楽町の東京国際フォーラムにいて地震に遭い、電車が全て止まってしまったため、約5キロを歩いて帰宅したことを思い出しました。 (伊丹 記)